

第20回「鉄道のある風景写真コンテスト」の開催のご案内

～「鉄道フェスティバル」では猪井審査委員長による講評会を開催します～

日本の四季折々の鉄道のある風景を題材に、昨年は1,332点の応募をいただいた写真コンテストを今年も開催します。

グランプリ受賞作品は、「鉄道の日」(10月14日)を中心に開催されるメインイベントの一つ「鉄道フェスティバル」(平成30年は10月6日～7日に日比谷公園(東京都)で開催。来訪者約15万人)のオープニングセレモニーで、審査委員長猪井貴志氏(写真家)より作品の紹介と表彰をいただいています。

グランプリを含む入賞・入選作品は、「鉄道フェスティバル会場」での展示のほか、全国の鉄道駅等でも展示会を開催し、広くご紹介いたします。特に、本年度の「鉄道フェスティバル会場」では、猪井審査委員長による各作品の講評、鉄道風景写真の撮影方等についての意見交換を行う予定です。

(※開催日時等については、決まりしだい鉄道・運輸機構ホームページなどでお知らせします。)

記

「第20回鉄道のある風景写真コンテスト」

主催：「鉄道の日」実行委員会

独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構(鉄道・運輸機構)

テーマ：日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

受付期間：平成31年7月1日(月)～8月30日(金)(必着)

受賞作品：グランプリ(国土交通大臣賞)

四季賞	春賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点、 国土交通省鉄道局長賞1点 を選出	1点
	夏賞		4点
	秋賞		
	冬賞		

シティ・トレイン・ビュー賞 1点

ジュニア賞(※18歳以下を対象) 1点

入選 数点

審査結果発表(予定)：10月上旬鉄道・運輸機構ホームページ

添付資料 第20回鉄道のある風景写真コンテスト募集要領

第19回鉄道のある風景写真コンテスト作品集

<本件に関するお問い合わせ先>

鉄道・運輸機構 鉄道助成部

特定財源管理課 黒鳥・福本

TEL 045-222-9133

第20回「鉄道のある風景写真コンテスト」募集要領

平成31年4月12日

主催者

「鉄道の日」実行委員会
独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構（鉄道・運輸機構）



後援

国土交通省

テーマ

日本の四季折々の「鉄道のある風景」を題材とした作品を募集します。

応募受付期間

平成31年7月1日（月）～平成31年8月30日（金）必着

応募資格

・アマチュアの方で、撮影マナーをしっかりと守っていただける方ならどなたでも応募できます。

応募規格

※応募規格外の写真は、審査の対象外となります。

- ・応募作品は、未発表のものに限る。（詳細は注意事項①をお読み下さい。）
- ・カラー六切り（ワイド六切り可）、またはA4サイズでプリントアウトしたもの。
- ・額装、合成写真及び組み写真は不可。
- ・概ね3年以内に撮影をしたものに限る。
- ・応募点数は一人4点まで可能。
- ・無人航空機（ドローン等）により撮影した写真は不可。

応募方法

- ・応募作品には1点ごとに「作品情報票」を裏面にテープで貼付した上で、「応募票」（送付封筒1通毎に1枚作成）を同封して下記応募先まで送付して下さい。（直接の持ち込みは禁止します。）なお、「作品情報票」及び「応募票」は本要領の最終ページの利用、もしくは鉄道・運輸機構HP（<http://www.jr-tt.go.jp>）よりダウンロードして作成してください。必要事項について記載があれば自作のものでも構いません。
- ・応募作品が、送付中に作品が折れたり、汚れないようビニール袋に入れる、厚紙に挟む等の包装を推奨します。

応募・問い合わせ先

〒231-8315 横浜市中区本町6-50-1 横浜アイランドタワー20階
鉄道・運輸機構 鉄道助成部内 写真コンテスト係
電話 045-222-9122

表彰

・グランプリ	国土交通大臣賞	1点
・四季賞	四季賞の中から、鉄道の日実行委員会会長賞2点、 鉄道・運輸機構理事長賞1点、 国土交通省鉄道局長賞1点 を選出	4点
・春賞		
・夏賞		
・秋賞		
・冬賞		
・シティ・トレイン・ビュー賞		1点
・ジュニア賞 (18歳以下を対象)		1点
・入選		数点

グランプリ受賞者には、賞状、トロフィー、副賞及び記念品を贈呈いたします。
四季賞及びシティ・トレイン・ビュー賞受賞者には、賞状及び記念品を贈呈します。
ジュニア賞の受賞者及び入選された方には、賞状及び記念品を贈呈いたします。

審査委員

審査委員は、次の方々をお願いします。(敬称略)

審査委員長	猪井 貴志 (写真家)
審査委員	竹内 健蔵 (東京女子大学教授)
審査委員	中村 直美 (株式会社交通新聞社 取締役第2 出版事業部長)
審査委員	国土交通省鉄道局長
審査委員	独立行政法人 鉄道建設・運輸施設整備支援機構理事長

審査結果の発表

受賞者・入賞者へは、鉄道・運輸機構から直接ご連絡するとともに、平成31年10月上旬に、鉄道・運輸機構HP (<http://www.jrtt.go.jp>) にて発表します。

なお、グランプリ受賞者は、10月に東京で行われる「鉄道の日」関連行事の中で表彰式を行います。また、入賞・入選作品は、作品集への掲載や全国各地の鉄道駅等で行う展示会で広く紹介するほか、一部の作品は、鉄道・運輸機構の平成32年カレンダーなどにも利用します。

個人情報の取り扱いについて

作品をご応募の際には、応募者は「応募票」「作品情報票」に正確な個人情報を記入し、主催者に提供いただく必要がありますので、応募者は、自らの意思に基づき個人情報の提供についてご判断ください。なお、必要な個人情報を提供していただけない場合、主催者は当該応募を受け付けません。

(利用目的)

- ◇ 提供していただく個人情報は、以下の目的で必要な範囲で利用されます。
 - ・ 入賞、入選者への通知
 - ・ 本コンテストの応募作品に関する応募者への問合せ
 - ・ その他、本コンテストの運営上必要な場合
- ◇ 入賞、入選者の氏名、住所(都道府県のみ)は、本コンテスト関係のウェブサイトや印刷物その他で、入賞、入選作品を紹介する際にも掲載されます。

(個人情報の管理)

個人情報の取り扱いについては、関係法令に従い適正に管理します。

注意事項

- ① 応募いただく作品は、未発表で応募者が一切の著作権を有しているものに限り、応募者による同一または類似作品は、規模の大小にかかわらず、他のコンテストなどに応募中または応募予定の場合は応募できません。但し、応募者本人の制作による市販目的のない写真集や本人のホームページに掲載された作品、審査のない写真展に出品した作品は応募可能です。
- ② 応募作品で使用する被写体（人物等）及び著作物等については、被写体および著作権等の権利者から応募者が事前に使用許諾・承認を得た上で応募してください。応募作品に関し、第三者からの権利侵害や損害賠償などの苦情、異議申し立てがあった場合といえども、主催者は一切の責任を負わず、応募者が全て対処するものとします。
- ③ 応募作品に関する著作権は、応募者に帰属するものとします。
- ④ 入選者は主催者に対し、主催者が管理するウェブサイト、展示会、印刷物、宣伝広告物等において、入賞・入選作品を公表、表示、複製、展示、公衆送信（送信可能化を含む）、頒布等し、かつ、それらの全部または一部を第三者に再許諾できる無償の非独占的権利を許諾するものとします。
- ⑤ 主催者は、前項に関連して、入選作品の全部または一部を改変（色合いの変更を含む）できるものとします。
- ⑥ 入選者は、主催者および主催者から許諾を受けた第三者に対し、著作者人格権を行使しないものとします。
- ⑦ 応募作品は返却いたしませんのでご了承ください。
- ⑧ 入賞・入選内定者は、指定期限内に原版（ネガ・ポジ等）またはデジタルデータを提出していただきます。期限内に提出いただけない場合、入賞・入選の内定を取り消します。なお、原版（ネガ・ポジ等）で提出いただいた場合は、使用後に当該原版を返却いたします。
- ⑨ 応募作品の受領通知は行いませんので、ご了承下さい。
- ⑩ 応募作品（入賞・入選作品に関しては提出いただいた原版及びデジタルデータも含む）の取扱いには十分注意しますが、万一応募作品に関する損失、紛失等の事故（送付中の事故も含む。）が生じた場合であっても責任は負いかねます。
- ⑪ 審査選考に関するお問合せ及びご要望には応じかねます。
- ⑫ 撮影にあたっては、列車往来などに十分注意してください。鉄道用地・私有地への無断の立ち入りや違法駐車、ゴミの投棄などの近隣住民への迷惑行為及び危険行為は絶対に行わないで下さい。これらの行為のうえ撮影されたと思われる作品は審査対象外とします。また、撮影に起因する事故やトラブル等については、主催者は一切の責任を負いかねます。
- ⑬ 主催者は、応募者が応募した時点で本募集要領に記載されている諸条件に同意したものとみなします。本募集要領に明記されていない事項については、主催者が最終的な決定権をもつものとします。また、主催者の決定に同意できない場合、応募者は応募を撤回することができますが、応募の撤回にともなう費用は、全て応募者の負担となります。
- ⑭ ご応募が本募集要領に違反すると主催者が判断した場合は失格となります。また、入賞・入選決定後に違反が判明した場合も同様となり、入賞・入選の取消しや副賞等を返還していただく場合があります。この場合の費用は、全て応募者の負担となります。

作 品 情 報 票

【それぞれの作品裏面に貼付】

(ふりがな) 氏 名	(歳) ※1 男 ・ 女
(ふりがな) 作品タイトル	
撮影日時等	年 月 日 時頃 (春 ・ 夏 ・ 秋 ・ 冬) ※2
撮影場所	鉄道会社名 ※3 (..... 線間)
撮影コメント※3 (撮影時の状況や狙い、感想等)	
カメラ種別※4 カメラ機種 レンズ	種 別：フィルム・デジタル・その他 (.....) 機 種： レンズ：
撮影データ※3 (絞り・シャッター速度等)	
本コンテストへの 応募回数	回 目
写真撮影歴※3	約 年

- ※1 応募時点での年齢をご記入ください。
 ※2 応募作品について、応募者が該当すると感じている季節を○で囲んでください。
 ※3 可能な範囲でご記入ください。
 ※4 該当する種別を○で囲んでください。

入選 水島 憲明(東京都)



『木々芽吹く』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 馬下駅～咲花駅)

撮影者のコメント

「普段は平凡なロケーションですが、この日だけは特別でした。まったりと春を満喫し、お目当てのSLばんえつ物語号を待ちました。」

シティ・トレイン・ビュー賞 仲岡 博史(大阪府)



『今日も頑張っているあなたのために』

(JR東京駅)

撮影者のコメント

「都市を支える、正に大動脈。正確に、安全に動いてくれている。感謝を込めて。」

ジュニア賞 佐藤 心(山梨県)



『温もり』

(東日本旅客鉄道 中央本線 長坂駅)

撮影者のコメント

「雪の降る日、列車から降りた子供とその母親のつないだ手に、家族の温もりを感じた」

第19回

鉄道のある風景写真コンテスト 作品集

「鉄道のある風景写真」の第一の定義は、やはりその美しい風景に季節や天候・時間が組み合わされた写真です。しかし、「鉄道」にはレールや駅・沿線の雰囲気や人の営みなど、周りにある被写体すべてがモチーフになります。

それら出会った被写体にしっかりと向き合い、一期一会の瞬間を大切に、シャッターを切っている様子が伺える作品にはいつも心惹かれます。

毎日の喧騒の中、通勤・通学の時間帯に同じホームに立つと、ふと、反対方向の電車に乗って、どこか知らないところへ行ってみたくなる衝動に駆られることはありませんか？そんな時、たまには心に新鮮な風を吹きこみ、豊かな気持ちになる旅に、いつもの「駅」から出かけてみませんか。

リフレッシュした自分のまなざしを信じ、新しい出会いを見つけ、鉄道写真撮影を大いに楽しみましょう。

写真家 猪井 貴志

グランプリ 国土交通大臣賞 川出 尚志(東京都)



『銀杏輝く』

(西日本旅客鉄道 三江線 香淀駅～作木口駅)

撮影者のコメント

「三江線最後の秋に、黄葉まっさかりの銀杏と絡めて撮影しました。列車が通過する時、銀杏に光が差し輝いた感動の一瞬でした。」

第19回 鉄道のある風景写真コンテストの概要

主催 「鉄道の日」実行委員会／鉄道・運輸機構
後援 国土交通省
募集期間 平成30年7月2日(月)～平成30年8月31日(金)
審査 平成30年9月4日(火)午後 鉄道・運輸機構にて開催
応募数 1,332点 (応募者数: 482名)

写真の審査は、次の方々をお願いいたしました。(敬称略)

審査委員長 写真家 猪井 貴志
審査委員 (株)交通新聞社取締役第2出版事業部長 中村 直美
東京女子大学教授 竹内 健蔵
国土交通省鉄道局長 蒲生 篤実
鉄道・運輸機構理事長 北村 隆志

受賞・入選
作品の展示

平成30年10月6日(土)～7日(日) 第25回鉄道フェスティバル会場(東京・日比谷公園)
平成30年10月10日(水)～16日(火) 愛媛県松山市役所
平成30年10月20日(土) JR新潟駅
平成30年11月6日(火)～16日(金) 神戸電鉄谷上駅
平成30年11月23日(金)～12月6日(木) つくばエクスプレス浅草駅

第20回は、平成31年春に募集案内を告知する予定です。
応募要領は、鉄道・運輸機構のホームページをご覧ください。



明日を担う交通ネットワークづくりに貢献します。

鉄道・運輸機構

Japan Railway Construction, Transport and Technology Agency

〒231-8315 神奈川県横浜市中区本町 6-50-1 (横浜アイランドタワー)

TEL 045 (222) 9100 (代表)

URL <http://www.jrnt.go.jp/>

総評

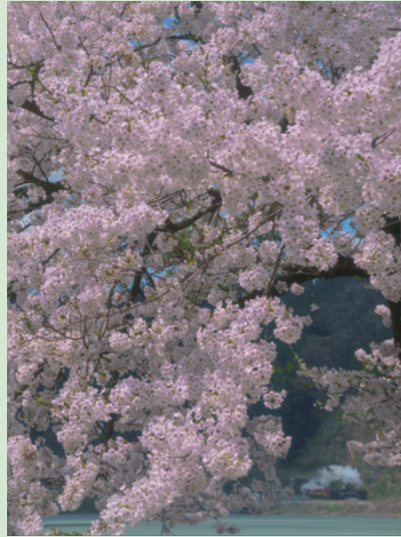
第19回「鉄道のある風景写真コンテスト」に今年も多数の応募が寄せられました。応募者の皆様の巧みな光の捉え方、作品に対する熱意がひしひしと伝わって来たことに審査員一同感動させていただきました。

鉄道風景写真を撮る上で一番気になるのがやはりお天気です。目指す撮影地で毎日同じ時間に通過する主役の列車が、朝日・夕陽に一番美しく輝く姿を撮影したいと思うものです。それには、撮り手である我々が、理想の日の出・日の入りの時間を確認し、巡る季節の通過時間にあわせるのです。その強烈なインパクトを持つ太陽を写し込むことで、一味も二味も違う印象的な写真が撮れ、鉄道の生き生きとした存在感を引き立てます。鉄道風景写真撮影での一喜一憂する至福の時間帯ですので、光がどの方向から、どのぐらいの強さで当たるのかを常に意識することが大切なポイントになります。太陽光という万能な光源の「光」と「影」は作品を引き立たせる大事なアクセントになるのです。

第19回グランプリに輝いた川出尚志さんの作品「銀杏輝く」。一見どこでも見ることのできる光景なのですが、見事なまでに「光」と「影」を意識し、コントロールすることにより、平凡な景色もドラマチックな絶景に変貌させてくれました。太陽の光をうまく活かすことこそ鉄道風景写真の醍醐味だと感じさせられました。

写真家 猪井 貴志

春賞 福田 雄一(埼玉県)



『満開』

(東日本旅客鉄道 磐越西線 三川駅～津川駅)

撮影者のコメント

「画面いっぱいの桜に、白煙の「ばんえつ物語」を添えて、お花見気分です撮りました。」

秋賞 浅倉 一弘(千葉県)



『紅葉飾り』

(東日本旅客鉄道 水郡線 矢祭山駅～東館駅)

撮影者のコメント

「紅葉の盛りを迎えた矢祭山。カラフルな車両が真紅の額で飾られました。」

夏賞 島村 直幸(福岡県)



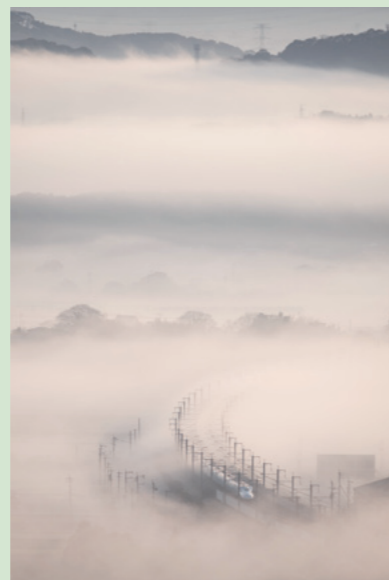
『夜光電車』

(西日本旅客鉄道 美祿線 湯ノ峠駅～厚保駅)

撮影者のコメント

「蛇行する川面に映る電車のヘッドライト、その灯りに負けじと無数のホタルが乱舞、初めて見る光景に感動しながらの激写でした。」

冬賞 時吉 准一郎(福岡県)



『天空の新幹線』

(西日本旅客鉄道 山陽新幹線 小倉駅～博多駅)

撮影者のコメント

「雲海の切れ間と線路が重なった時にタイミング良く新幹線が走ってくれました。」

入選 伊藤 正和(北海道)



『風光明媚』

(北海道旅客鉄道 釧網本線 塘路駅～茅沼駅)

撮影者のコメント

「マイナス20℃を下回る早朝の中、太陽が昇るにつれ金色に輝き始める景色を行く一番列車の姿は息をのむほど輝いてました。」

入選 辻本 一夫(東京都)



『まもなく冬がやって来る』

(北海道旅客鉄道 宗谷本線 塩狩駅～和寒駅)

撮影者のコメント

「過ぎ去る秋を名残惜しむようにカラマツ林が最後の輝きを放つ頃、背後には厳しい冬の気配が迫っている。幾度季節が移りゆこうとも、列車は今日も駆け抜ける。」

入選 寺澤 秀樹(愛知県)



『七夕Street』

(万葉線 高岡軌道線 高岡駅～末広町駅)

撮影者のコメント

「かねてから一度は撮影したかった七夕夜景と万葉線電車の組み合わせ。この日、長年の宿願を成就することができました。」

入選 小西 直昭(埼玉県)



『下校の時間』

(東日本旅客鉄道 吾妻線 中之条駅)

撮影者のコメント

「小野上温泉まで「ホタル」を見に行き、乗り過ごした中之条駅で戻る列車を待つ間にホームのベンチから撮った写真です。乗り過ぎなければ撮れなかった一枚と言えるでしょうか。」

入選 福園 公華(埼玉県)



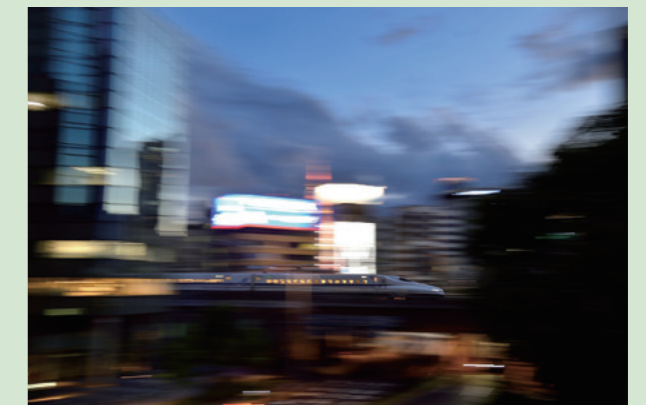
『春うらら』

(九州旅客鉄道 肥薩線 西人吉駅～人吉駅)

撮影者のコメント

「残念ながら目的の桜は、まだ咲いていなかったものの、菜の花が見たことないくらい満開で、きれいに咲いており、この菜の花とSLをからめたらいい写真が撮影できると思いました。」

入選 塚原 徹(東京都)



『ネオン導く東京へ』

(東海旅客鉄道 東海道新幹線 東京駅～品川駅)

撮影者のコメント

「黒い雲から天候回復した夕留の夕方、青空と灯り点るタイミングで、まもなく終着駅に到着する東海道新幹線を流し撮りで捉えました。」